

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	県立芦屋国際中等教育学校 職・氏名 教諭・大谷 誠	研究グループ名 (日本語教育研究会)	採択番号
-----------------	------------------------------	-----------------------	------

研究テーマ分類番号(3)

県教育委員会のホームページに掲載します。

(1)研究テーマ	
J S Lカリキュラムを活用した取組を中心とする日本語教育の実践	
(2)研究経過及び具体的な取組	
4月 2日	新入生の日本語習得状況についての調査に向けての打合せ
4月 9日	新入生の日本語習得状況についての調査 ・方法：基礎的な日本語の書き取りテスト ・成果：調査結果をもとに習得状況に応じた要日本語支援生徒グループの編成
4月12日	J S Lカリキュラムに即したチームティーチングのすすめ方についての協議
4月22日	要日本語支援生徒の学習状況の確認 J S Lカリキュラムの実践・教材開発に向けた研修のすすめ方についての協議
5月13日	J S Lカリキュラム研修会の内容協議・教材の分析 ・方法：要日本語支援生徒の学習状況関連資料の検討 ・成果：生徒の学習状況を踏まえた日本語担当・国語科担当の緊密な連携と、よりきめ細かな教材分析と実践の必要性についての共通理解
5月20日	J S Lカリキュラムに基づく日本語教育研修会の内容協議 要日本語支援生徒のグループ移動に関する手続き確認
6月 3日	要日本語支援生徒へのJ S Lカリキュラム実践の内容分析 ・方法：定期考査及び平常の学習状況資料の検討 ・成果：生徒の日本語能力や学力の見極めとそれに応じたグループ移動の決定
6月 4日	第1回日本語教育推進委員会の開催 ・要日本語支援生徒の学習状況・グループ移動についての共通理解 ・日本語教育研修会の内容確認
6月24日	要日本語支援生徒の学習状況連絡表作成・保護者へ配布
6月28日	第1回日本語指導研究推進校連絡会に参加(本校にて) ・今年度の取り組むべき内容と方向性についての協議
7月 8日	1学期の要日本語支援生徒の学習状況調査 ・方法：1学期の成績等のグラフ化 ・成果：要日本語支援生徒の学習状況の把握と今後の課題の抽出 学校教育におけるJ S Lカリキュラムの在り方についての分析 ・方法：文科省「学校教育におけるJ S Lカリキュラム・中学校編の内容確認 ・成果：「よりわかる授業づくり」のための方法(スモールステップ化・評価方法の工夫など)について共通理解

- | | |
|--------|---|
| 7月23日 | 第1回日本語教育研修会（本校職員対象）の開催
・ J S Lカリキュラムの内容や方法についての共通理解
・ 各学年の実践報告
・ 日本語教材「やさしい日本語」に基づくワークショップ |
| 7月29日 | 京都教育大学附属桃山中学校との交流（本校にて）
・ 桃山中学校に在籍する帰国・国際枠生徒と本校生徒の交流 |
| 9月9日 | 要日本語支援生徒の学習状況の分析
・ 方法：夏季課題の取組状況の検討
・ 成果：個々の学習状況に応じた学習内容の反復の必要性について再確認 |
| 9月24日 | 第2回日本語教育推進委員会
・ 日本語能力検定に向けた取組について
・ 今後の日本語教育研修会の内容についての協議
・ 要日本語支援生徒の学習状況の共通理解 |
| 10月7日 | 前期課程編入生徒への日本語指導の方法等についての協議 |
| 10月21日 | 国語科と連携した研修の在り方についての協議 |
| 10月30日 | 要日本語支援生徒の学習状況の分析
・ 方法：2学期前半の学習到達度を示す資料の検討
・ 成果：生徒により意欲を持たせる支援の在り方についての共通理解 |
| 11月6日 | 日本語指導授業研究会（芦屋市立潮見小学校）への参加
・ J S Lカリキュラムの視点に立った授業の見学
・ 今後の研究推進における課題とその解決に向けた取組について
前期課程編入生徒への日本語指導の方法についての協議 |
| 11月26日 | 第3回日本語教育推進委員会
・ 第2回日本語教育研修会の内容等についての協議
・ 要日本語支援生徒の学習状況についての情報交換 |
| 11月29日 | 要日本語支援生徒の学習状況連絡表の作成・保護者への配布 |
| 12月4日 | 要日本語支援生徒に対する授業実践についての協議 |
| 12月11日 | 京都教育大学附属桃山中学校の公開授業・研究発表会への参加 |